

「いい学校」は「いい地域」にできる ～導入に向けた研修会を開催～

8月6日、コミュニティ・スクール導入に向け、先行事例を基に理解を深めることを目的に、学校の管理職等を対象とした研修会と、地域教育協議会委員及び単位PTA等を対象とした研修会をそれぞれ開催しました。講師には、元文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の皆川雅仁氏をお招きし、CS導入と推進に向けたご自身の実践を熱くお話いただきました。

研修会前半の講演では、「既存の取組やネットワークなどをこの機会に見つめなおすこと」、「学校と地域が目指す目標を共有し、支援ではなく協働の関係で取り組むことが重要であること」、「円滑な推進には『熟議』がとても大切であること」などをお話いただきました。

また、後半には、中部教育事務所の秋澤美加子主任社会教育主事にもご登壇いただき、事前に参加者からお受けしていた質問に対し、トークショー形式でお答えいただきました。

質疑の時間には、PTAの参加者から「地域で『若者』という世代の自分たちが60代以上の地域のリーダー層や学校関係者に意見を述べることは、不安で勇気がいるもの。本音で語るためにはどうしたら良いか」という質問が出され、「熟議が大変有効。熟議には『否定しない』というルールがある。また、声に出さなくても付箋に書くことで意思表示もできる。このルールとツールが本音で語るための秘訣」と回答をいただきました。

アンケートを通じ、参加者からは「講演やトークの時間を通じ、イメージを持つことができた。不安はあるものの、地域の方々と協力して進めたい（学校関係者）」「取組に当たっては子どもが中心であることを意識することが大切。地域を知ること、願いを共有することが大切であることが分かった（地域関係者）」など様々なご感想をいただきました。



（写真上）講師の皆川雅仁氏。遠野ファンでもあることから、本市のCS推進に向け、熱いエールもいただきました。（写真中）皆川氏と秋澤主任社会教育主事のトークショー形式の様子。寄せられた質問をもとに、軽やかにお話いただきました。（写真下）地域向け講演会でも質問が出されました。

地域教育協議会で導入に向けた説明を行っています！



（写真）達曽部地域教育協議会の会議の様子。様々な質問が寄せられました。

現在、各地域で開催されている地域教育協議会の会議では、コミュニティ・スクールの方向性（案）の説明を行っています。

説明会では、協議会や部会のメンバー構成や、協議会や熟議で話し合われるテーマ、学校運営協議会と地域教育協議会の関わりなど様々な質問が寄せられ、地域で各学校に関わっている地域教育協議会委員の方々の

関心の高さが感じられました。

なお、コミュニティ・スクールの導入と地域教育協議会における取組の進化に向けて、今年度中に地域教育協議会での「お試し熟議」の実施についても提案しており、早いところでは9月中に熟議が開催される予定です。

【お知らせ】 「Q&A集」を 作成しています

研修会及び地域教育協議会の説明において、多くの質問が寄せられています。いただいた質問とその回答についてまとめたものを「Q&A集」として配布するための準備を進めています。完成しましたら、市内小・中学校や地域教育協議会事務局等に配布する予定です。